



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

月信 Vol.10

2024
[APRIL]

4



Contents

ガバナーメッセージ	3
国際ロータリー第2520地区 2023-2024年度ガバナー 森川 昭正	
パストガバナーメッセージ	4
2017-2018年度 ガバナー 藤崎 三郎助	
パストガバナーメッセージ	5
2018-2019年度 ガバナー 田中 堯史	
環境月間によせて	6
盛岡南ロータリークラブ 2022-2023年度 ガバナー 天沼 久純	
盛岡ロータリークラブ創立85周年記念式典	7
2024-25年度 地区チーム研修セミナー	
第6分区インターシティミーティング報告	8
第7分区インターシティミーティング報告	9
第8分区インターシティミーティング報告	10
RLI研修の報告	11
「令和6年能登半島地震」義援金の報告	
奨学生レポート	12
新入会員紹介・退会会員報告・寄付報告	13
月間行事予定表	14
IFMRジャパン大会	15
編集後記	16



残雪の蔵王連峰を背景に美しい桜並木が映える大河原町の一目千本桜。ソメイヨシノを中心とした桜並木はおよそ8kmにわたる。JR東北本線の車窓で出会える桜のトンネルも必見だ。

[表紙写真提供]

Kappo (株) (株式会社 プレスアート)



ロータリーからの情報発信 ～楽しみながら情報を仕入れましょう!～

国際ロータリー第2520地区
2023-2024年度ガバナー

森川 昭正 Akimasa Morikawa

本年1月7日～11日にアメリカのフロリダ州オーランドで国際協議会が開催され、当地区の佐藤剛ガバナーエレクトが参加されました。そこで次年度のRI会長であるステファニーA.アーチック氏より次年度RIテーマ「ロータリーのマジック (The Magic of Rotary)」が発表され、いよいよ新しい年度に向かって動き出した感じがします。近年のロータリーは以前の単年度制ではなく、中・長期的な視点で会員・クラブ・地区が行動し、会員や地域社会のニーズに合わせた奉仕活動、会員増強などを計画的に実行してくように進められています。そのような中、ロータリーは「My Rotary」だけではなく、さまざまな情報発信をしています。その中の2つを紹介させていただきます。

Japan Rotary Portal site

Rotary Japanが作成したロータリーに関するポータルサイトです。My Rotaryに比べ、とてもわかりやすく、重要な事項が理解しやすくまとめられたサイトになっています。次年度RI会長の考えていることや、新しい年度に向かっての行動計画「3-Year Rolling Targets(3年間の目標)」について詳しく書いてあります。特にガバナー補佐、会長エレクトの皆様には見て頂きたいサイトです。もちろん会員の皆様もとても勉強になりますので、一度ご覧になってください。

スマホはこちらから



ロータリーの友 電子版

ロータリーの友には“電子版”があることをご存知でしょうか？ロータリーの友は1953年1月号が創刊号であり、当時の国際ロータリーの理事であった手島知健氏が日本のロータリーが2つの地区に分かれる際に、ロータリーの情報を伝える必要性を訴え、発行に至りました。ロータリーの友電子版では、この創刊号からすべてのロータリーの友を読むことができます。それだけではなく、検索機能もあり、例えば「久慈」と検索すると、1971年4月号には久慈ロータリークラブのバナーが紹介されており、その頃は岩手県が352地区だったことがわかります。もちろん最新号まで掲載されていますので、現在の情報源としても非常に役に立ちます。皆様も、この「ロータリーの友“電子版”」を立ち読みのように彷徨い、今昔のロータリーを楽しんでみてはいかがでしょうか？

スマホはこちらから



※ロータリーの友電子版を見るにはIDとパスワードが必要です。IDとパスワードは各クラブの事務局に送られてくる請求書に各クラブのIDとパスワードが書いてありますのでクラブ事務局にお問い合わせください。



私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー

2017-2018年度 ガバナー

藤崎 三郎助 Saburousuke Fujisaki

私は長年にわたり、ロータリーの理念と活動に深く関わってまいりました。これまでの経験から、ロータリーは単なるクラブ活動ではなく、地域社会や国際社会における変革の一翼を担う存在であることを痛感しております。ガバナーを務めた2017-2018年度RI会長はオーストラリアのライズリー氏でした。掲げたテーマは一言で言うところ「変化」。時代の変化と共にロータリー自身も変わっていかなくてはならないという観点からそれを挙げていました。特に強調されていたのは会員構成について。当時は50歳以上の比率が70%以上、そして40歳以下の方は5%以下で、この状況のままだと本当にロータリーは大変ですよというニュアンスの事をずっと仰っておりました。女性会員も正式に入会が認められたのは1989年のことですが、今後の世界のバランスを考慮し女性会員の比率を40%まで高めたいと未来のロータリーを見据えていたのが印象に残っています。

アトランタ大会でのエピソードをもう一つ。エンドポリオです。マイクロソフトのビルゲイツさんのビルゲイツ&メリンダ財団が2016年～2018年の3年にわたりロータリーが5,000万ドル集めることができれば、財団として1億ドル、当時の円換算で160億円を上乗せすると約束されました。また、皆さまご存知のジャックニクラウスさんも登壇。13歳の時にポリオに

掛かり、辛い症状が軽く克服され素晴らしい成績を残したニクラウスさんが、ポリオ撲滅に向けスピーチを行いました。スピーチ後の物凄い拍手と熱気を帯びた歓声。ガバナー当時のいい思い出です。

過去のロータリーでは、地域のニーズに応えるため様々なプロジェクトが展開されました。清掃活動や教育支援など、地域社会の課題に対処するための取組が行われ、多くの人々の生活に明るい影響を与えてきました。また、国際的な交流プログラムや災害支援活動などを通じて、世界各地の人々との絆を深める機会もありました。

今後のロータリーにおいても、これらの活動をさらに発展させることが必要です。特に、持続可能な開発目標 (SDGs) に向けた取り組みや、技術革新を活用した新たなプロジェクトが求められています。また、若い世代の参加を促進し、地域や国際社会のリーダーとしての役割を果たすために、ロータリーの魅力を広める努力も重要です。

地域社会や国際社会の課題は多岐にわたりますが、ロータリーの精神と協力の力を結集すれば、その解決に向けた道を切り拓くことができると信じています。これからもロータリーの理念に基づき、微力ながら尽力してまいります。

「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」

パストガバナーからのメッセージを掲載致します。

近年、世界の情勢も情報化社会も急速に変化している中、ロータリーにつきましても同様のことが言えるのかと思います。当地区のロータリアンの皆様におかれましては、それぞれロータリーについて考え、それぞれの奉仕活動にご尽力されていることと思いますが、一方でその急激な変化から、ややもするとロータリー活動において迷いが生じている会員の方々もいらっしゃるかと思います。

そこでこの度、パストガバナーの皆様からRI第2520地区の会員

の皆様への道標として「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」というテーマで寄稿をお願い致しました。内容につきましては、ガバナー就任時に重点を置いていたこと、良かったことや苦勞したことなどのエピソード、また、近年のロータリーについて考えること、ロータリアンに対するエールなどで地区ロータリアンの皆様を元気づけて頂ける様にお願ひ致しました。

私も楽しみに読んでいきたいと思っています。

(2023-2024年度ガバナー 森川 昭正)

2024年 5月号 鈴木賢パスト・伊藤智仁パスト

2024年 6月号 鈴木俊一パスト・天沼久純パスト



私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー

2018-2019年度 ガバナー

田中 堯史 Takafumi Tanaka

サンディエゴで開催されたロータリー国際協議会でオープニングセレモニーを終えたステージに現れたバリー・ラシン会長エレクトが2018-19年度テーマ「Be the inspirathion」が発表された瞬間、会場は大歓声に包まれました。しかし、「インスピレーションになろう」と聞いても、ある種の高揚感にあった私にはそのテーマが直ぐには理解することができなかったのです。ラシン会長の話はまだ続きます。ロータリーの新しいビジョン声明は次のように謳っています。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指します。」ラシン会長はこのビジョン声明の意義を強調し声明が目指すロータリアンを実現するために行動してくださいと訴えました。私は、このビジョン声明文を、「そして何よりも自分自身の中で」と一語を付け加えて発表してきました。その後の分科会では、テーマの日本語訳から初め、様々な意見が出されました。いろんな解釈があって良い、自由に考えて構わないというような分かったような分からないような、着地点の定まらない状態が続きました。時を経ずして公式訪問が始まり、めまぐるしく地区の行事への参加を繰り返していきなかつた、私かたどり着いたのは「インスピレーションになろう」は言い換えてみると、例えば「羅針盤になろう」でした。浅学非才の私がガバナー職をお引き受けして、荒波にもがきながらしがみついていたのは羅針盤でした。答えはロータリアンの皆様にあったのです。皆様の後姿を見ながら活動を共にして感動と感激の中で気がついたのです。今更「インスピレーションになろう」といわずともロータリアンの全ての人たちは、既にインスピレーションそのものでした。ロータリーの長い歴史と2520地区の伝統、ロータリアンの皆様様が最後まで私を導いてくれました。このことは私にとっては生涯忘れることのできない出来事です。改めて地区のロータリアンの皆様に感謝と敬意を捧げる次第です。さて、ロータリーのビジョン声明は前述したとおりですが、これを実現するために様々な提案がなされており、実行されていることはご承知おきのことであります。そして、そのためには先ずロータリーは変わらなければならないと、声高に言われていることも承知しています。ポール・ハリスの時代から「ロータリーは変わらなければならない」と云われていますが、こういった場合に併せて取り上げられるのがダーウインの「地球上の生き物は全て生き残るチャンス求めて進化する。最も強いものや、最も賢いものが生き残るのではない。最も変化に適応したものが生き残るのである。」しかし、ダーウインの著書のどこにもこの言葉を見つけ出すことはありません。「種の起源」を読んだアメリカの経営学者、レオン・メギンソンが自分の感想として論文にしたものが、ダーウインの言ったこととして流布されてしまったものです。そのことは別に置いておくと、ダーウインの進化論はあくまでも人類を生物学的に現象としてみたものであり、人類、人間は本来、いかにあるべきかという本質の世界から見たものではありません。本質論からみると果たして人間は進歩しているでしょうか。進化論に退化論は必然、ダーウインよりずっと前の18世紀初頭にビュホンという学者

が曰く「猿は人から退化し、驢馬は馬から退化した。」もし時代の変遷につれて人間は次第に進歩するものであるならば先に生まれた人間に比べて、後に生まれた人間は全て賢くなければなりません。確かに進歩は退歩より良いのは明らかです。然し現実の世界をみまると人間は必ずしも進歩しているとは思えません。寧ろ人間は本来いかにあるべきかという本質の世界・思想の世界では、退歩している面すら見受けられます。ロータリーも市場経済という環境の変化に対応しながら退化し続け、組織としての生き残りを図っているのではないかと思われる。「いつまでも変わらない本質的なものを大事にしつつ、新しい変化を取り入れる」、つまり「不易流行」だと思のです。最近のロータリーにおいては本質的なものまでもどんどん捨てていって、何がなんだか良くわからなくなっていると云えます。今では「職業奉仕」も出席の規定もないがしろにされていると云って良いでしょう。米山梅吉翁は「ロータリーの例会は人生の道場、人づくりの修練の場である」と云っておられます。佐藤千尋パストガバナーの著書に「ロータリーは人を作る」というのがあります。ロータリーの人づくりとは、芋の子を桶の中にぶち込んで掻き回すようなもので、芋と芋とがお互いにこすれあって自然と黒い皮が剥けて綺麗になる—その引っかき棒の役割をするのがロータリーの計画する様々の活動である、というのです。云いて妙ではありませんか。不肖私も、ロータリーは人づくりの場と考えていますが、人が人を作ることはできません。あくまでも会員のひとり一人が自ら成長していく自分作りが基本であり、ロータリーはその成長の後押しをしていくのが大切な役目です。そのために例会があり、出席の義務があります。職業奉仕委員会の活動も然りです。職業奉仕とは、「職業を通じて社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねるということ」です。それによって自己の職業の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在になることができるのです。自分の職業と道徳的水準を高め、社会から尊重される存在になる、そういった自分を作り上げるという意味で「自分作り」が全てに優先して大切なことだといえるのではないのでしょうか。そして「自分作り」こそ、職業奉仕の原点のように思います。原点復帰もよく議論されるテーマですが、原点或は古に還るのはこれまで築き上げたものの逆転や後退のためのものではなく、一度スタートに戻って、助走から方向付けてゆくランニングのように将来の針路を歴史的、根本的に見直すものです。親睦と地域社会への奉仕こそがロータリーの原点、夫々のクラブにあって皆んなと一緒にわいわいと遣っていく、そんな気風を構築していくことが必要だとつくづく思います。前例重視とかあるいは慣例に流されると退屈します。会員増強は新入会員を増やすばかりのことではありません。今いる会員の一人ひとりへの目配り、気配りのほうがもっと大事と考えます。ページ数の制限がありますので、ここでは記載ができませんが、私のロータリー活動の支えになっているのが「大連宣言」です。ネットで簡単に検索できますので一度声にして読んでいただくことを強くお勧めします。

環境月間によせて

国際ロータリー第2520地区 盛岡南ロータリークラブ
2022-2023年度 ガバナー

天沼 久純 Hisazumi Amanuma



アメリカ合衆国では、11月に行われる大統領選挙に向け、圧倒的な支持でトランプ前大統領が共和党の大統領候補に決まりそうです。トランプ氏が大統領に再選される可能性がでてきたことで、世界中がアメリカ大統領選挙に注目しています。

トランプ氏は大統領当時、化石燃料を支持し、気候変動対策に関する国際的な枠組みであるパリ協定からの離脱を表明しました。環境保護に関する規制を撤廃するなど、CO2削減などの世界協定に従わなかったのです。トランプ氏が再び大統領に就任すれば、環境政策の逆行を余儀なくされます。

また、ウクライナとロシアの戦争、イスラエルとハマスの戦争などにより、環境破壊が著しく進んでいます。戦闘による燃料・弾薬の使用、避難民の移動、火災などにより温室効果ガスの排出が増加しているのです。有害物質の放出、森林破壊、河川の汚染なども問題です。

今直面している世界の環境問題には多くの課題があります。

1. 気候変動
地球温暖化による異常気象が多発しています。
2. 海面上昇
氷河の融解と海水の熱膨張により、海面が上昇し島々の国々や都市が、影響を受けています。
3. 森林火災
気温の上昇により、火災の頻度と規模が増加しており、生態系に大きな影響を与えています。
4. 生物多様性の減少
人間の活動による生息地の破壊や汚染が原因で、多くの種が絶滅の危機に瀕しています。

2020年7月、ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は「環境」を重点分野に追加しました。私たちロータリアンは、環境問題に少しでも対処していくために、ひとり一人意識をもって、考え、行動することが大切です。クラブは、ロータリーのネットワークや補助金をいかして環境プロジェクトを実施することができます。一緒に取り組んでいきましょう。



盛岡ロータリークラブ創立85周年 記念式典

盛岡ロータリークラブ 会長 吉江信博



2月24日、盛岡ロータリークラブ創立85周年記念式典・記念祝賀会が岩手県知事、盛岡市長、森川ガバナーはじめ多くのご来賓、ロータリアンをお迎えして開催されました。当クラブは1939年に東京・仙台ロータリークラブをスポンサークラブとして、東北では郡山、仙台に次ぐ3番目のクラブとして誕生、戦時中も「盛岡木曜会」と名称を変えて会合を途絶える事無く続け、戦後はロータリーの輪の拡大に努めると共に、5名のガバナーも輩出しています。今年度クラブ創立85周年を記念し、子供達を対象に日本の本物の伝統芸能を鑑賞することで「心の栄養」としてもらいたいと、春風亭一之輔はじめ4名の演者による落語会を開催致しました。

恒例の桜の植樹、環境保全ポスター公募・子供食堂資金支援も実施、4月からは盛岡スコール高等学校をインターアクト校として支援していきます。盛岡ロータリークラブは、創立当時の原点を思い起こし、奉仕の理想の追求・自己研鑽にも励み、これからも精進することを誓い合って創立85周年記念式典を終了しました。



2024-25年度 地区チーム研修セミナー

2023年2月23日(金・祝)に、盛岡市のいわて県民情報交流センター・アイーナで、地区チーム研修セミナーを開催致しました。次年度のガバナー補佐、各委員会委員長・副委員長、地区役員ら約60人が参加。森川昭正ガバナーの挨拶のあと、米国フロリダ州オーランドで開かれた国際協議会の様子、ステファニー・A・アーチック次期国際ロータリー会長が次年度テーマ「ロータリーのマジック」について話すビデオメッセージを上映しました。佐藤剛ガバナーエレクトの基調講演では、国際協議会での感想を述べたあと、次年度の活動方針などについて説明。スライドを使いながら、My Rotaryの登録促進、DEIの意義と理解を呼びかけました。天沼久純次期地区ラーニングファシリテーターの挨拶、地区組織・行事日程、ガバナー公式訪問について説明したあと、佐藤エレクトが加藤雄彦ガバナーノミニ、柴田茂ガバナーノミニデジゲネットを紹介。最後に加藤ノミニが地区戦略計画(24-27年度)について説明し、セミナーを締めくくりました。

次期代表幹事 小野寺 弘行 (水沢ロータリークラブ)



第6分区

国際ロータリー第2520地区第6分区松塩グループ 創立記念合同例会・インターシティミーティング報告

第6分区ガバナー補佐
利府ロータリークラブ

高橋 陸夫

Mutsuo Takahashi

第6分区松塩グループの国際ロータリー創立記念合同例会・インターシティミーティングが共催で令和6年3月9日(土)利府町文化交流センター【リフノス】において開催されました。今回はコロナ禍で4年ぶりに開催することができ、ご来賓に森川ガバナー、熊谷大利府町長にご出席いただきました。

第一部は合同例会(多賀城RC担当)で森川昭正ガバナーよりロータリー創立記念日を迎えての卓話を頂きました。

第二部はインターシティミーティング(利府RC担当)で講師に熊谷大利府町長(利府RC名誉会員)より、これからの利府町の地方創生についての講演を頂きました。利府町は仙台市、観光地松島の陰になり町名の知名度が低く、そこで知名度UPを図るための成長戦略を立ち上げました。宮城県総合運動公園があり、利用者も100万人を超えています。また全国で3番目の広さのイオンモール、またホテルを誘致し現在建設中です。財界人との交流を図りスポーツ、文化観光に力をいれています。首都圏の新聞や週刊誌に広告の掲載等、メディアを活用し知ってもらう・来てもらう・住んでもらう、これを目標に住宅地や工業団地の造成開発をすすめ、定住化を図り独自の市制化を遂行したいと、これからのまちづくりについてお話を頂きました。早期に目標達成が実現できるように応援したいです。

当日は61人の登録を頂きました。合同例会、インターシティミーティング、第三部懇親会までお付き合い頂き、ありがとうございました。第6分区松塩グループとしては、実に素晴らしいIMでありましたとご報告致します。



第7分区 インターシティミーティング報告

第7分区ガバナー補佐

仙台レインボーロータリークラブ

秋田 陽子

Yoko Akita

インターシティミーティング(以後IM)の目的は「複数のクラブが集まり奉仕とロータリーの知識を広めること」とある。

2023-24年度第七分区のIMは仙台RCの当番である。仙台RCはIM特別委員会を立ち上げ準備をしていたようだった。年が明けて委員会に呼ばれた。

IM実行委員長:阿部賀寿男氏/副委員長:鈴木辰男氏/委員:廣川隆氏/委員:長沼博氏/幹事:石井光二氏 の面々。一つの意見が出されると、次回にはキチンと形になって示される。「すごいな」(私の心の声)。式典の本本など四稿に及んだ。

そして当日、第七分区の25.6%にあたる126名の出席を得て、私の開会点鐘から始まり、笑いの中で進行していく。森川ガバナーの挨拶の後、基調講演は地区DEI推進委員長加藤幹夫氏(仙台北,クリーニング)の話を聞く。題名「ロータリークラブにおけるDEIの取り組み」次に事例発表が行われ、仙台RC:小宮仁奈子氏(百貨店)/仙台南RC:大江広満氏(社会保険労務士)/仙台泉RC:鎌田善幸氏(外食産業)/仙台北RC:山下望氏(保険全般)の現状と未来への展望が語られた。

この中で「女性が社会に参加しようとする時に、男性は下駄を履かせてはと心配するが、男性こそズーっと下駄を履いてきた」という言葉。女性である私にとってこの言葉はとても心地良いものとして残った。ガバナーノミニーの加藤雄彦氏の講評を得て、次年度当番の仙台奥羽RC会長の挨拶があり、広瀬ゾーン担当のガバナー補佐松坂宏造氏の閉会点鐘で締めくくられた。

会場をかえて後半は懇親会。四年ぶりの開催である。あなたは何人の人と会話をしましたか?いつもなら途中退場する人もいて「手に手つないで」を歌うころはまばらになることも多いが、二重になっても良いかなと思わせる大合唱となった。すばらしい。

こうしてロータリーに所属している喜びと参加出来た幸せをかみしめて、一日の行事を終えた。

皆様ご参加ありがとうございました。そして仙台RCの皆様お世話になりました。



第8分区 インターシティミーティング報告

第8分区ガバナー補佐
名取ロータリークラブ

佐々木 一雄

Kazuo Sasaki

2024年3月9日(土)名取RCをホストクラブとして、名取市サッポロビール(株)イベントホールにて、第8分区インターシティミーティングを開催しました。第2520地区ガバナーエレクト、佐藤剛様に出席を賜り、並びに、第8分区9クラブの会員105名の参加をいただいた事は、主催者にとって、大変嬉しい一日でありました。

開会点鐘に始まり、武田実行委員長の挨拶、佐々木ガバナー補佐の開会挨拶、亀井会長の歓迎の言葉に続き、佐藤剛ガバナーエレクトに、ご挨拶をいただきました。その後、各クラブ紹介が行われた後に、代表者の発表となりました。

今回のIMのメインテーマである「地域社会への奉仕活動」サブテーマ「チア・サポート応援・支援」についての発表でした。各クラブの、日頃の活発な活動を、8分間に見事にまとめて発表していただき、終始、穏やかな雰囲気での、中身の濃い内容であったと思われまます。発表者に感謝申し上げるしだいです。

発表後、佐藤ガバナーエレクトより講評をいただき、ユーモアをまじえた話に、会場が大変盛り上がり、勇気づけられる言葉に、今後の奉仕活動にちから添えいただいたと思います。

その後、会場をサッポロビール園に移動し、懇親会が催されました。全員が参加し、席順を自由にしたため、各クラブ入り乱れて、会は大変盛り上がり、笑い溢れる楽しい場となりました。

時間の過ぎ去りも早く、瞬く間に、宴もたけなわになりました。最後は全員が大きな輪になり「手に手つないで」を合唱し、閉会となりました。

又、当日は、名取RCの提案にて、能登半島大地震への支援として義援金ボックスを設置し、協力を呼び掛け、参加者より多くの協力をいただきました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。



RLI研修の報告(2023年から2024年度)

RLI委員会 委員長 柴田 茂 (盛岡東ロータリークラブ)

RLI委員会の委員長をつとめております盛岡東RCの柴田 茂です。RLI委員会にご理解とご協力いただき、心から感謝申し上げます。RLI研修会は、ロータリーの大先輩から次期会長・次期幹事になる方々、そして各委員会の委員の方々、さらにはクラブに入会されてまだ間もない方々にもぜひ受講いただきたい研修会です。パート1からパート3までの研修を終了すると、卒業となり、各研修終了時には終了証がガバナー事務所から授与されます。森川昭正ガバナー年度に入って初めてのRLI研修会は、2023年11月11日に仙台で開催されました。ファシリテーターは16名で、研修会には26名の皆様が参加されました。また、パート2は2024年3月16日に同じく仙台で開催されました。当日のファシリテーターも16名で、研修会には32名の皆様が参加されました。パート1とパート2は各教室に分かれて行われ、参加者の皆様が活発に意見を述べ、明るく研修会を終えることができました。研修会を終えた参加者の皆様からは、地区内の会員の皆様との名刺交換ができて良かった、もっと前に研修会に参加すれば良かった等のお話をいただき、私たちRLI委員会のメンバーも元気づけられました。次回のパート3は5月18日に開催される予定ですので、ぜひご参加いただき、引き続きロータリーを楽しんでいただければ幸いです。4月半ばにガバナー事務所から各クラブにご案内が届きますので、宜しくお願いいたします。



「令和6年能登半島地震」義援金の報告

平素より2520地区の運営にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」に際しましては、地区の皆様に対し義援金のご支援とご協力をお願いさせていただきました。皆様のご協力のもと「**2,778,750円**」のご支援が集まりました事をご報告させていただきますと共に、ご協力に感謝いたします。

この度の被災地区でありますRI第2610地区へは、当地区から多少の上乗せをし、総額300万円のご寄付をさせて頂きました。その他にも、姉妹・友好クラブ等に直接のご支援を頂いたとのお話も耳にしております。多大なるご支援とご協力をいただいている事に深く感謝申し上げます。

一日でも早く被災された皆様に、平穏な日常が訪れますよう心から願っております。

ガバナー 森川 昭正

奨学生レポート



パジャマまたは仮装での参加が義務の忘年会

2023年度
ロータリー財団グローバル補助金奨学生

熊谷 祐作 Yusaku Kumagai

宮城県仙台市出身。国立シンガポール大学/ National University of Singaporeで低侵襲な胎児診断や胎児の有害な転機を裏付ける生物学的検証項目に焦点を当てた、トランスレーショナル研究を確立する。
ホスト地区：第3310地区
RC：Suntec City (サンテックシティ) RC

皆様、お久しぶりです。大変お世話になっております。今回は3回目のご報告となりますが、仕事関連、レクリエーションの二本立てで伝えさせていただきます。

2023年12月～2024年1月には、研究チームのお手伝いとして、これまでの実験で得られたヒツジの胎盤からRNAを抽出し、解析をする仕事を行いました。この実験について簡単に説明しますと、未熟な胎児の肺成熟を促すステロイド治療というものがあるのですが、様々な投与量のステロイドをヒツジ母獣へ投与し、ヒツジ胎仔を治療する実験を長年行っております。既知の胎仔の肺への影響と胎盤の関係を調べることが今回の目的となります。その他、超早産の胎児救命率を改善するため、東北大学医学部周産期グループと共同で行っている人工胎盤研究というものがあります。これは子宮から帝王切開術で娩出したヒツジ胎仔を数日間回路につなぎ、その胎仔を調べるというものです。どのような遺伝的・タンパク質の変化があるかを解析するため、その血液を米国企業へ依頼する仕事を行いました。また1月には東北大学医学部で行われる実験に参加するため日本に一時帰国しました。東北大にてヒツジの手術を行い、次回の実験への手ごたえを得ることができました。実はこの一時帰国には別のプライベートの目的があり、生後2か月の赤子を世話する妻や長女のサポートをするためという目的もありました。日本への帰国を認めてくれたシンガポールの上司には感謝しかありません。

当研究室では微小重力環境での幹細胞やがん細胞の研究を行っていることから、国際宇宙技術学会@シンガポールという学会へ参加しました。この学会はシンガポール政府に加え、イギリスと日本(JAXA)が大きく貢献している学会です。ヘルスケア分野の発表が

少ないのは残念でしたが、ロケット会社、人工衛星会社、通信会社(AWS)、JAXAなどに務める日本人もたくさん参加されており、宇宙開発のお話をたくさん聞くことができました。私はこのような産業の常識を持ち合わせていなかったのもとても刺激的な学会でした。近い将来、宇宙業界とのコラボレーションも夢ではないと感じ、むしろ自分達ヘルスケア業界側から宇宙技術・産業の組織にアプローチをする必要性を感じました。

12月には2つの大きなパーティー(産婦人科全体でのパジャマを着て参加する忘年会と、シンガポール日本人会主催のカウントダウンパーティー)、2月の旧正月には友人のシンガポール人宅でのホームパーティーに参加しました。またJapan Creative Centre主催の室伏広治長官と日野見達人の講演「スポーツと武道の心」を聴講しました。仕事以外の面でも大変充実しております。3月には家族をシンガポールへ連れてくる予定です。この引っ越しと生活の立ち上げのため長期休暇を取りますので、次回の定期報告はシンガポールでの生活に関する報告が増えると思います。今後とも宜しくお願い致します。



旧正月のお祝いと麻雀初体験

新入会員紹介

					
二戸RC なりた こういちろう 成田 耕一郎 2024.2.6 入会 小売業	盛岡中央RC となり なるみ 斗成 成美 2024.2.20 入会 建設業	花巻北RC ふじわら たかし 藤原 誉 2024.2.14 入会 一般建築塗装	仙台RC こじま つとむ 小嶋 努 2024.2.27 入会 廃棄物処理	仙台RC さかした たつや 阪下 達哉 2024.3.5 入会 ビール製造・販売	仙台RC さなだ まさゆき 真田 昌行 2024.3.5 入会 商事弁護士
					
仙台宮城野RC ごとう けんじ 後藤 謙次 2024.3.14 入会 SC事業・ホテル	丸森RC あべ ひでかず 阿部 秀一 2024.2.12 入会 建設業	丸森RC こんの まさゆき 今野 真幸 2024.2.12 入会 建設業	村田RC あべ よしかず 阿部 宜一 2024.2.1 入会 団体職員		

【退会会員報告】

クラブ	氏名	職業分類	退会日
盛岡北RC	西川 雅之	銀行業	2024.3.31
大船渡西RC	菅原 実	衣料品販売	2024.2.29
大船渡西RC	高木 久子	薬局	2024.2.29
栗駒RC	蘇武 徳行	教育	2024.2.16
栗駒RC	下西 充	歯科医師	2024.2.29
仙台西RC	林 克己	宣伝・印刷業	2024.2.9
仙台宮城野RC	土田 巧	建設工事	2024.2.29

【財団寄付】

■ロータリー財団

2024年2月認証

寄付分類	所属クラブ	氏名
マルチプル・フェロー	奥州水沢東RC	錦山 功
	盛岡中央RC	山田 康平
	盛岡東RC	柴田 茂

寄付分類	所属クラブ	氏名
ポールハリス・フェロー	石巻東RC	菅原 秀之

2023-2024年度 行事予定表(4・5月)

月	日	曜日	行 事	場 所
2024年				
ガバナー年度 4月	7	日	米山記念奨学オリエンテーション	江陽グランドホテル
			2024-25年度会長エレクト研修セミナー(PETS)	ホテルメトロポリタン盛岡本館
	18	木	クラブ活性化セミナー2024(~19日)	JPタワーホール&カンファレンス
	20	土	地区大会(~21日)	ホテルメトロポリタン仙台
5月	11	土	日本青少年交換研究会@山形会議(~12日)	天童市 市民文化会館/天童ホテル
	18	土	RAC年次大会	ラ・クラージュ(古川)
	25	土	ロータリー国際大会(~29日)	シンガポール

お詫びと訂正

ガバナー月信VOL.9(2024年3月号) P2目次とP6掲載文のタイトルに誤りがありました。ここにお詫びを申し上げ訂正させていただきます。

誤)『水と衛生月間』に寄せて ▶ 正)『水と衛生月間』に寄せて

名取ロータリークラブ・住所変更のお知らせ

新住所

〒981-1223

名取市下余田字鹿島10 株式会社バイタルネット南仙台支店敷地内

※電話、FAX番号の変更はありません

IFMR MEETING

International Fellowship of Motorcycling Rotarians

JAPAN CHAPTER

JULY 2024



Rotary



IFMR
International Fellowship of
Motorcycling Rotarians
JAPAN



in HOKKAIDO

2024年7月27日(土)

IFMR ジャパン大会 北海道開催

2024年7月27日(土)に開催されるIFMR ジャパン大会北海道開催は、バイク愛好家のロータリアンが親睦を深める絶好の機会です。美味しい地元の食事を楽しみ、ロータリーの理念に基づく新たな友情を育む場となります。北海道の夏と大自然を満喫しながら、全国から来た仲間たちとの絆を深めましょう。ご参加をお待ちしています。



IFMR ジャパン大会 北海道開催 記念Tシャツ発売

S~LL 2,310円(税込) 締切は5月10日です。お早めに!!

3L~5L 2,475円(税込)

お申し込みは、直接、オクトンさんへメールかFAXでお申し込みください。その場合、サイズや枚数をお伝え下さい。メール：yamazaki@octon.co.jp FAX：0120-916-322

■開催日時・大会スケジュール

- 2024年7月27日(土曜日) 17:30より
 - 例会 17:30より
2024-25年度 RI2500 地区 小谷 典之ガバナーご挨拶
2024-25年度 RI2510 地区 出村 知佳子ガバナーご挨拶
 - 親睦活動グループについての卓話
 - 18:00より懇親会 アトラクション
- ※ドレスコードは、カジュアルです。記念Tシャツをおすすめします。
 ※ご宿泊は、数室のご用意がございますが、各自でご手配ください。
 ※翌日28日(日)に、ツーリングを予定しております。(希望者)
 (ツーリングは、早朝から昼までの予定です。昼食は各自をお願いします。)
 ※レンタルバイクをご利用の方は、各自でご手配ください。

- 開催場所：旭川トーヨーホテル
北海道旭川市7条通7丁目32-12
- 登録料・登録締切：2024年5月10日
- 登録料：ロータリアン 15,000円 パートナー 8,000円
※参加資格はロータリアン及びパートナーの方
- 登録料振込口座：稚内信用金庫 旭川支店 (店番 017)
普通 口座番号 1117989
IFMR ジャパン大会北海道 幹事 佐藤 友泰
アイエフエムアールジャパンタイカイホ
- ご登録は、各地区のガバナー事務所へ登録のご案内を送らせて頂きますので、そちらからご登録お願い致します。



IWATE AREA

第一分区

- ① 久慈 RC 24(1)
- ② 二戸 RC 46(4)
- ③ 種市 RC 17(0)
- ④ 盛岡 RC 75(3)
- ⑤ 盛岡北 RC 34(3)
- ⑥ 盛岡西 RC 18(1)
- ⑦ 盛岡南 RC 40(0)
- ⑧ 盛岡東 RC 25(2)
- ⑨ 盛岡中央 RC 24(4)
- ⑩ 盛岡西北 RC 43(6)
- ⑪ 盛岡滝ノ沢 RC 4(3)

第二分区

- ⑫ 花巻 RC 21(2)
- ⑬ 花巻南 RC 32(1)
- ⑭ 花巻北 RC 42(1)
- ⑮ 北上 RC 37(3)
- ⑯ 北上西 RC 17(3)
- ⑰ 北上和賀 RC 20(3)
- ⑱ 岩谷堂 RC 10(0)
- ⑲ 前沢 RC 13(0)
- ⑳ 水沢 RC 14(1)
- ㉑ 奥州水沢東 RC 32(4)

第六分区

- ④⑥ 古川 RC 43(4)
- ④⑦ 古川東 RC 39(1)
- ④⑧ 岩出山 RC 12(1)
- ④⑨ 加美 RC 15(0)
- ⑤⑩ 大和 RC 5(0)
- ⑤⑪ 松島 RC 5(0)
- ⑤⑫ 塩釜 RC 29(1)
- ⑤⑬ 塩釜東 RC 11(1)
- ⑤⑭ 多賀城 RC 23(3)
- ⑤⑮ 利府 RC 9(1)
- ⑤⑯ ケー浜 RC 13(0)

第七分区

- ⑤⑰ 仙台 RC 129(4)
- ⑤⑱ 仙台泉 RC 49(0)
- ⑤⑲ 仙台青葉 RC 41(0)
- ⑥① 仙台冠 RC 11(3)
- ⑥② 仙台レインボー RC 7(2)
- ⑥③ 仙台南 RC 43(4)
- ⑥④ 仙台南・白石R衛星 19(9)
- ⑥⑤ 仙台北 RC 60(1)
- ⑥⑥ 仙台東 RC 55(0)
- ⑥⑦ 仙台西 RC 40(1)
- ⑥⑧ 仙台宮城野 RC 32(3)
- ⑥⑨ 仙台奥羽 RC 26(3)

第四分区

- ③② 釜石 RC 17(1)
- ③③ 釜石東 RC 28(2)
- ③④ 大槌 RC 6(0)
- ③⑤ 遠野 RC 10(2)
- ③⑥ 宮古 RC 32(4)
- ③⑦ 宮古東 RC 24(1)
- ③⑧ 山田 RC 20(1)

第三分区

- ②② 花泉 RC 10(2)
- ②③ 平泉 RC 12(0)
- ②④ 一関 RC 16(1)
- ②⑤ 一関中央 RC 16(6)
- ②⑥ 大船渡 RC 32(2)
- ②⑦ 大船渡西 RC 30(5)
- ②⑧ 陸前高田 RC 18(0)
- ②⑨ 千厩 RC 24(2)
- ③⑩ 気仙沼 RC 22(0)
- ③⑪ 気仙沼南 RC 38(2)

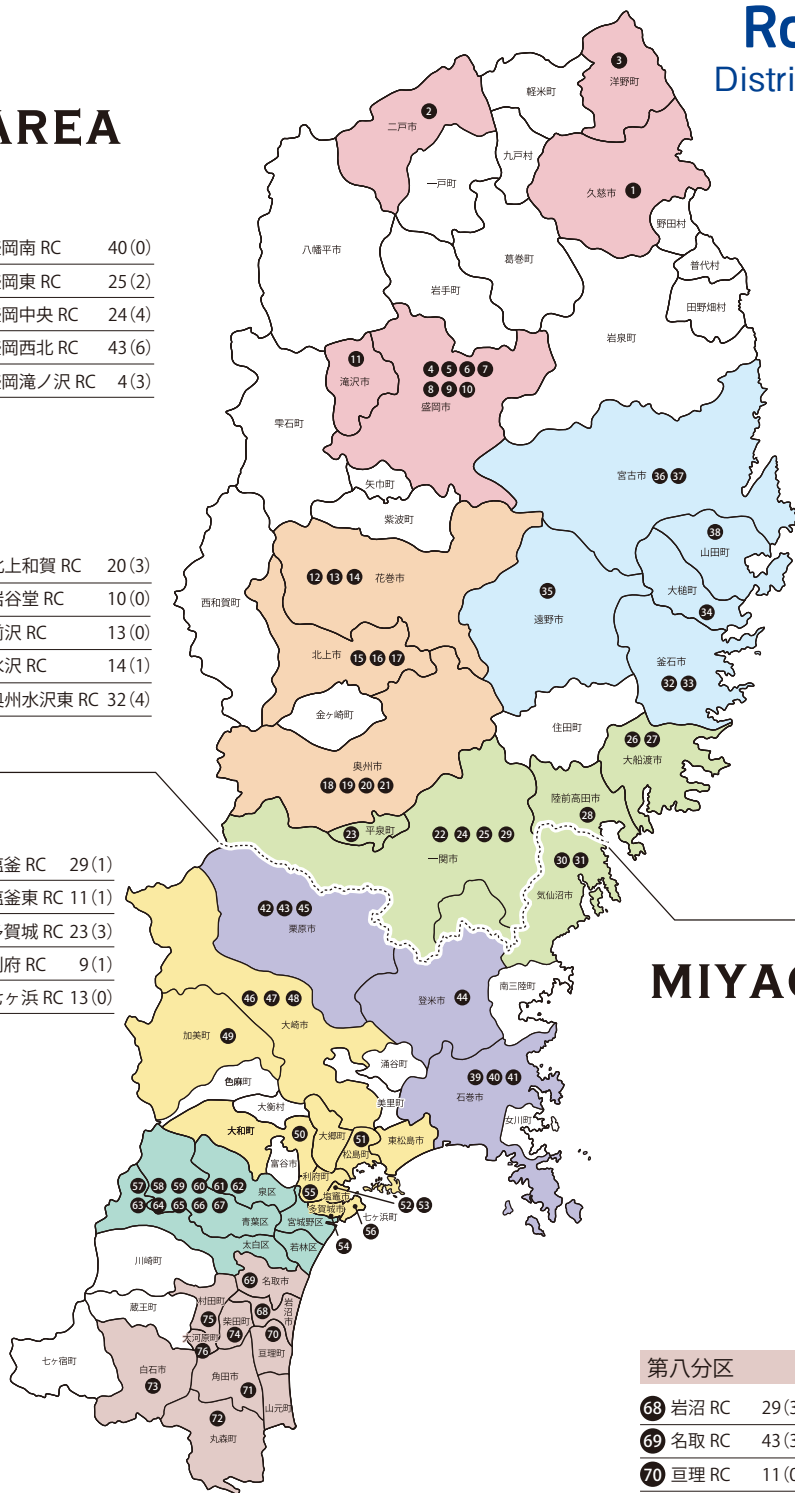
MIYAGI AREA

第五分区

- ③⑨ 石巻東 RC 39(0)
- ④① 石巻西 RC 34(2)
- ④② 石巻南 RC 18(0)
- ④③ 栗駒 RC 13(1)
- ④④ 築館 RC 19(1)
- ④⑤ 佐沼 RC 52(5)
- ④⑥ 若柳 RC 26(7)

第八分区

- ⑥⑧ 岩沼 RC 29(3)
- ⑥⑨ 名取 RC 43(3)
- ⑦① 角田 RC 16(0)
- ⑦② 丸森 RC 14(0)
- ⑦③ 白石 RC 16(1)
- ⑦④ 柴田 RC 18(0)
- ⑦⑤ 村田 RC 13(1)
- ⑦⑥ 大河原 RC 32(4)



※クラブ名の右側の数字は2024年2月29日会員数
()内は女性会員数【合計2,052名(146)】

〈 編集後記 〉

今月は待望の地区大会が開催されます。準備に追われ季節の流れもなかなか感じる事が出来ない毎日です。只今、ガバナー事務所総力を挙げて会員の皆様をお迎えするよう頑張っております。どうぞ多くの皆さまのご出席を賜ります様お願い致します。

ガバナー月信編集長 佐藤 優昭

国際ロータリー第2520地区 2023 - 2024年度 ガバナー事務所

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-1-8
第一日本オフィスビル8階4号
開所時間 / 月～金 9時～17時(土・日・祝日休み)

TEL 022-224-0151 FAX 022-224-0152
E-mail: ri2520-sendai@sage.ocn.ne.jp